

「うちの子、ちょっと気になるかも」 「近くで相談できるところないかな？」

普段の生活やお勉強、お友だちや先生とおしゃべり・・・
いろんな場面で、お子さんのことで気になることがあったり、
相談したいことがあったりしませんか？

<おしゃべりのこと>

- ・言いづらい言葉や行がある。
- ・何を言っているのか聞き取りづらい時がある。
- ・みんなの前で発表するときに、緊張しすぎて言葉が詰まる。 など

まずはお気軽に
ご相談ください

<勉強のこと>

- ・何度書いても、ひらがなや漢字、英語を覚えられない。
- ・黒板を写すのに時間がかかりすぎて授業時間中に間に合わない。
- ・「ていねいに」と意識しているのに、上手にノートが取れない。
- ・一生懸命勉強してもテストの点数につながらない。

など

<生活のこと>

- ・すぐに気が散ってしまって、集中して何かをすることが苦手。
- ・気がつくとボーッと、自分の世界に入ってしまったみたいだ。
- ・宿題や持ってくるものなど忘れ物や、物忘れが多い。
- ・友達との関わりを深めることができていないようだ。 など

こもれびの取り組み

愛媛大学教員、言語聴覚士（ST）などの専門スタッフが対応をします。

●ことばの指導や助言

ことばの指導や家庭等での工夫等の
アドバイスをします。

<構音をより意識させる活動>



<吃音の症状を緩和させる活動>

緩和のための方法を
練習したり、
正確に理解され適切な
支援が受けられる
環境づくりを行います



●学び(学習・生活スタイル)の提案やフォロー

一人ひとりの課題に対する
学習や生活等の工夫等のアドバイスをします。
必要に応じて学校での学習のフォローをします。

<学びにくさ、わかりにくさの原因を考える>

得意な部分と苦手な部分を見つけながら
学びやすい方法を考えます



<個々に応じた支援機器の活用>



お問い合わせ

愛媛大学教育学部
特別支援教育講座
苅田知則研究室

TEL : 089-927-9517
MAIL : karilab.soudan.booth@gmail.com

f facebook

学びとことば こもれび

*ご本人や保護者の希望に応じて学校や先生と連携し学級の中で直接関わりながら相談を進めることもできます。

本プロジェクトは文部科学省から委託を受けた「発達障害の可能性のある児童生徒の多様な特性に応じた合理的配慮研究事業」等の事業の一環として行われています。

一人ひとりの悩みに応じて、専門家がていねいに対応する
学びとことばのアドバイスルーム

相談ブース「こもれび」を知っていますか？

こもれびの取り組みについて



●ことばの指導や助言 言語聴覚士の先生による、言葉に関する専門的な指導及び相談



本人・保護者および専門家によることばの評価と現状の把握

構音障害、吃音ともに、現在の状況を正確に理解することが適切な支援や指導につながります。特に吃音は、本人の自覚の程度が関わりの方針を考える上でも重要なポイントです。

例えば…

「話すときにつまってしまう。なるべくつまらずに話したい」

「力行がタ行になってしまう。言えるようになりたい」



吃音が出にくい方法（緩和法）

（練習編）

色々な場面を想定して練習する。
一単語、短文、会話、音読

（実践編）

自分にとって合う方法を
ふだんの生活で使ってみる。

1. ゆっくり話す
2. そっと優しく話し始める
3. わざと繰り返す、伸ばす
4. 少し待ってから話す



先生と苦手な音の練習

言語聴覚士の先生と一緒に、
苦手な音の入った単語、文章を言い
ながら、練習をしていく。
また、家庭での練習方法を学ぶ。



吃音に関する正しい知識と対応を知るために

話しにくさに対して、とるべき態度や言葉かけは知られていないことも多くあります。

特に、吃音に関してはリーフレット（広島市言語・難聴児育成会きつおん親子カフェ制作）等を利用して
本人や保護者、関わる先生方に基礎情報から説明します。



声かけのアドバイス

クラスメイトへの説明

周囲の人が正しい知識をもって、
適切に関わるのが大きな支援になります。

●学び（学習・生活スタイル）提案やフォロー

特別支援教育士の資格をもつ先生による、学び方に関する指導及び相談

多様な視点から、学びにくさの理由を考える

本人や保護者、学校で関わる先生方から学校生活や学習に関するお話を伺い、「なぜ困っているのか」という根本的な理由を検討します。



一人ひとりに応じた、もっと学びやすくなる工夫

ふだんの学習で使えるちょっとした工夫でわかりやすさが変わるかもしれません。また、ちょっとした、道具を使うだけで学びやすさが変わるかもしれません。自分に合った学習の仕方を見つけます。

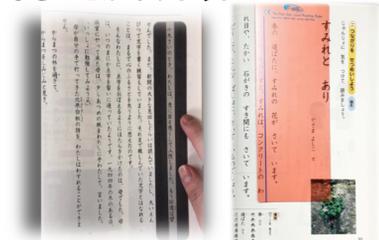
例えば…

「文章を読んだり書いたりするのが苦手。何か良い方法はないかな」



読んでいるところや、
書き写すところを
わかりやすくする工夫

補助具を活用すると、学びやすくなる
ことがあります。



（リーディングルーラー®）（魔法の定規®）



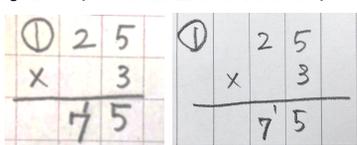
教科書やプリントを
ふだんより拡大する工夫

拡大することで、教科書は読みやすく、
プリントは書きやすくなる
ことがあります。



筆記用具などの工夫

筆記具やノートを工夫することで
学びやすくなる
ことがあります。



ICT機器を使う工夫

タブレットや電子辞書などを
活用することで、学びにくさを
補いやすくなります。

